

東京国立博物館 ニュース

2016 **8-9**

展示と催し物案内
第 738 号

- 2◎「博物館でアジアの旅」／3◎親と子のギャラリー「美術のうら側探検隊」
- 4◎特別展「禅一心をかたちに一」／5◎特別展「平安の秘仏—滋賀・樂野寺の大観音とみほとけたち」
- 特別展「古代ギリシャ—時空を超えた旅—」／6-11◎総合文化展
- 12-13◎みどりのライオン 教育普及事業／13◎保存と修理情報③④／14◎トーハクくんのなるほトーハク
- 15◎イベント&インフォメーション／16◎2016年8月・9月の展示・催し物



キッズ
ズデー

親と子のギャラリー
&
トーハクで過ごす夏休み



博物館で アジアの旅



東洋館

8月30日(火)～10月23日(日)

今年のテーマは中国。
中国屈指の
コレクションを誇る
上海博物館(上博)の
名品と東博の名品が
夢の競演。
さらに、中国らしい
イベントの数々が
中国の「旅」を
盛り上げます！

トーハク
東博×上博
夢のコラボ！

東博

東洋館 5 室

せい か からくまもんこうそくわん
青花唐草文高足碗

中国・景德鎮官窯「大明宣徳年製」銘
明時代・宣徳年間(1426～35)
宣徳年間の青花磁器は歴代で
最も評価の高いもの。歪み
のない精確な姿で、素地は光
を通すほど薄く削られています。
繊細で柔らかな筆致の文
様も大きな魅力です。



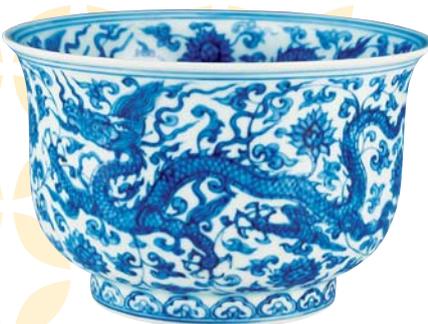
上博

東洋館 5 室

せい か れんりゅうもんわん
青花蓮龍文碗

中国・景德鎮官窯「正徳年製」銘
明時代・正徳年間(1506～21)

皇帝を象徴する五爪の龍が、
小ぶりの唐草の合間を縫うよ
うに描かれています。正徳年
間の官窯の青花にはこうした
密な表現やコバルトの柔かな
発色がみられます。



👛マークは、「博物館でアジアの旅」関連作品です。展示室でこのマークを探してみてください。

大充実
の
イベント

9月27日(火)～10月10日(月・祝)はイベント集中期間！

※全て参加無料(ただし、当日の入館料が必要)
※特記以外は当日受付(事前申込み不要)

スペシャルツアー 中国美術をめぐる旅 — 添乗員はトーハク研究員

トーハク研究員が中国美術を堪能する60分のツアー
にご招待！

■9月27日(火) 14:00～15:00

「中国陶磁1000年をめぐる旅」
三笠景子(東洋陶磁史)

■9月28日(水) 11:00～12:00

「アジアをリードした中国の染織技術」
小山弓弦葉(日本東洋染織史)

■9月29日(木) 11:00～12:00

「悠久の青銅器と神獣ウォッチング」
市元壘(東洋考古)

■10月4日(火) 14:00～15:00

「中国空想動物園」
勝木言一郎(東洋美術史、東西文化交流史)

■10月5日(水) 11:00～12:00

「中国家具をめぐる旅」
猪熊兼樹(工芸史)

■10月6日(木) 14:00～15:00

「幸せの形 — 吉祥エピソード —」
富田淳(東洋書跡)

集合：東洋館1階エントランス

※展示室をめぐるツアーです。歩きやすい靴でご参加
ください。

事前申込制 イブニングトーク

壇蜜さんと楽しむ中国美術の旅

壇蜜×富田淳(学芸研究部長)

タレントの壇蜜さんとともに、トーハク研究員のナビゲ
ートで東洋館の中国美術の魅力に迫ります。

■10月4日(火) 19:00～20:00(受付18:00～)

その後21:00まで東洋館観覧

定員：90名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

会場：東洋館シアター

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム

申込期間：8月1日(月)～9月5日(月) 必着

事前申込制 夜YOGA 仏像と過ごすタペ

毎年大好評！ 展示室でヨガ体験はいかがですか？

■9月29日(木)、10月6日(木)

19:30～20:30
(受付19:00～)

会場：東洋館1室

定員：各回20名

(事前申込制、応募者多
数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム

申込期間：8月1日(月)～8月29日(月) 必着



事前申込制 博物館ではじめての太極拳

中国といえば…！ 今年は展示室で太極拳

■10月5日(水) 19:30～20:30(受付19:00～)

会場：東洋館1室

定員：各回20名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム

申込期間：8月1日(月)～8月29日(月) 必着

アジアの伝統音楽・伝統芸術

シアターの演奏

■9月28日(水) 13:30～14:00、15:00～15:30

出演：サウン・ジョシ

会場：東洋館1室

古箏と馬頭琴の演奏

■10月9日(日) 13:30～14:00、15:00～15:30

出演：ウーファン(古箏)、イラナ(馬頭琴)

会場：東洋館1室

中国伝統芸術ショー(雑技)

■10月10日(月・祝) 13:30～14:00、15:00～15:30

出演：中国太陽芸術団

演目：雑技「樽ぐり」、[双人アクロバット]、

[椅子のバランス]、「水流星」等

※1、2回目でご公演内容を変更予定

会場：東洋館前 屋外ステージ

※雨天の場合は平成館大講堂、定員380名(先着順)

アジアン屋台

アジア料理を中心にしたケータリングカーが東洋館
前に登場！

アジアンめりえ

東洋館の展示作品をモチーフにしためりえをお楽しみ
ください。作品はお持ち帰りいただけます。

■9月29日(木)、10月1日(土)・2日(日)・6日(木)
11:00～16:00

会場：東洋館2室

着てみてポーズ！

中国・韓国・日本の伝統衣装

各国の伝統衣装(子ども用、大人用
ともに用意)を着て記念撮影。それ
ぞれの国の美意識や生活文化の違い
を体感できます。

■イベント集中期間(9月27日～10月
10日)中、毎日 12:00～17:00

会場：東洋館1階エントランス



事前申込制 ナイトミュージアム

親子で東洋館探検！

夜の東洋館を探検しながらクイズに答え、参加者全員
で暗号をゲット！力をあわせてゴールを目指そう。

■10月8日(土) 17:00～19:00(受付16:30～)

定員：30組(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム

申込締切：8月1日(月)～9月21日(水) 必着

ボランティアによる東洋館関連ガイドツアー

東洋館のハイライト、彫刻、たてもののガイドなど
を、「博物館でアジアの旅」のための特別バージョン
で実施します。詳細は今号、次号カレンダー(各号
16ページ)、当館ウェブサイトでご確認ください。

事前申込制 中国伝統の剪紙(切り紙)体験

ワークショップも上海博物館とコラボレーション。

新年や結婚式の飾りに使われる、伝統の切り紙を体験。

■10月8日(土)・9日(日) 13:00～14:10

会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)

対象：小学生以上(小学生以下は保護者の同伴が必要)

定員：各回20名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム

申込締切：8月1日(月)～9月20日(火) 必着

美術のうら側探検隊

7月5日(火)～8月28日(日)
本館特別2室

お子さんと一緒に楽しめるアイデアいっぱいの企画展示です。いつもとは違う展示方法や体験コーナーを通じて、作品のうら側に迫ります。自分の目と手で美術のおもしろさを発見しましょう。



埴輪 盾持人
茨城県つくば市
下横場字塚原出土
古墳時代(後期)・
6世紀



懐中電灯で埴輪の中を照らして見ることができるよ

ぼくの中も、のぞいてほしいような…(ドキドキ)。やっぱり恥ずかしいほ～



トーハクくん

はにわ たてもちびと
「埴輪 盾持人」の
“うら側”に迫る!

埴輪はいまから1700～1400年くらい昔、身分の高い人のお墓の上にならべたものです。この盾持人はお墓をまもる役割があると考えられます。中をのぞくと、粘土のヒモをつみあげて作っていることがわかります。

うらみるくんが鑑賞のポイントを解説!



うらを見る何がわかる?

あおい どちらわん めい と き い ど
「青井戸茶碗 銘 土岐井戸」の
“うら側”に迫る!



青井戸茶碗 銘 土岐井戸
朝鮮
朝鮮時代・16世紀
広田松繁氏寄贈

お抹茶を飲むお茶席ではお茶碗の魅力を楽しむため、底をながめたりします。このお茶碗の底にあるひび割れたようなゴツゴツは「梅花皮」と呼ばれ、井戸茶碗の見どころ。今回は特別にお茶碗を伏せて展示します。

井戸茶碗ならではの“うら側”だよ。高谷の近くに注目してみて!

つぶつぶがあるほ!これが井戸茶碗のポイントなんだほ～(ふふん)



トーハクくんったら、調子にのりすぎよ



夏休みの宿題お助けワークシート「美術のうら側探検報告書」

作品のうら側までじっくり見て、報告書にまとめよう。夏休みの自由研究はこれでOK! コンテストも開催します。詳細はウェブサイトをご覧ください。

ファミリーツアー「博物館のうら側探検ツアー」

普段は入れない博物館の“うら側”。そこには何があって、何をしているの? うら側を探検して、博物館の秘密をさぐる。

日時: 8月23日(火) ①10:30～11:30 ②14:30～15:30

場所: 本館地下みどりのライオン(教育普及スペース)

対象: 小学生2名までと保護者1名

定員: 各回10組 参加費: 無料(ただし、当日の入館料が必要)

申込方法: 当館ウェブサイトのフォームでお申込みください。

申込締切: ①②ともに8月10日(水) 必着

※インターネットからのお申込ができない方は、お電話でお問合せください。

TEL: 03-3822-1111 (代) 教育普及室「うら側探検」係

なにわ や
「難波屋おきた」の“うら側”に迫る!



(ウラ)



(オモテ)

難波屋おきた

喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀 展示期間: 8月2日(火)～8月28日(日)

「オモテ」「ウラ」、どちらからも見られるめずらしい浮世絵。薄い和紙の両面に木版で絵を刷っています。輪郭線が両面でびつたり合っているのがスゴイところ! うら側から見てもキレイな姿をしています。



浮世絵だけど、表だけじゃなくうら側もおもしろい作品なんだ



ユリノキちゃん

美人は後ろ姿もきれいなね。私も…ふふふ♡

禪

— 心をかたちにして —

平成館 特別展示室

10月18日(火)
～
11月27日(日)

禅の美の決定版！ 注目のキーワードは「禅と戦国武将」

今号では、本展の見どころのひとつとなる「禅と戦国武将」をキーワードに、
禅と武将の関係についてご紹介いたします。



策彦周良像 徳雲山人賛 (部分)
(絵) 中国 明時代・嘉靖 19年 (1540)
(賛) 室町時代・天文 13年 (1544)
京都・妙智院蔵 11月8日(火)～11月27日(日)



南化玄興像 自賛 (部分)
安土桃山時代・文禄 5年 (1596)
京都・隣華院蔵
11月8日(火)～11月27日(日)



織田信長像 (部分)
狩野永徳筆 安土桃山時代・天正 12年 (1584)
京都・大徳寺蔵
10月18日(火)～11月6日(日)

武将のブレン!?

たえず生死を分ける決断を迫られた戦国武将をブレンとして支えたのが禅僧です。比叡山延暦寺を焼き討ちするなど、神仏を否認したかにも見える織田信長も、学徳ゆたかな禅僧をブレンに迎えました。沢彦宗恩は「天下布武」ということばを考案し、策彦周良は禅の教えを説くとともに、中国の政治や人物について講じました。室町幕府を滅ぼし安土城を建設した信長のため南化玄興は、信長を中国古代の伝説上の聖天子、堯・舜にたとえ、「山を安土と名づくは、太平の兆し」と讃える詩文を作りました。そのほか北条早雲には以天宗清、武田信玄には快川紹喜、徳川家康には以心崇伝というように、禅僧たちは中国の政治思想や歴史、文学など学識をいかして戦国武将の政治と外交を支えたのです。(救仁郷秀明)

禅の影響を受けた武将の茶道具



青磁輪花茶碗 銘「鏡」
中国 龍泉窯
南宋時代・13世紀 愛知・マズプロ美術館蔵



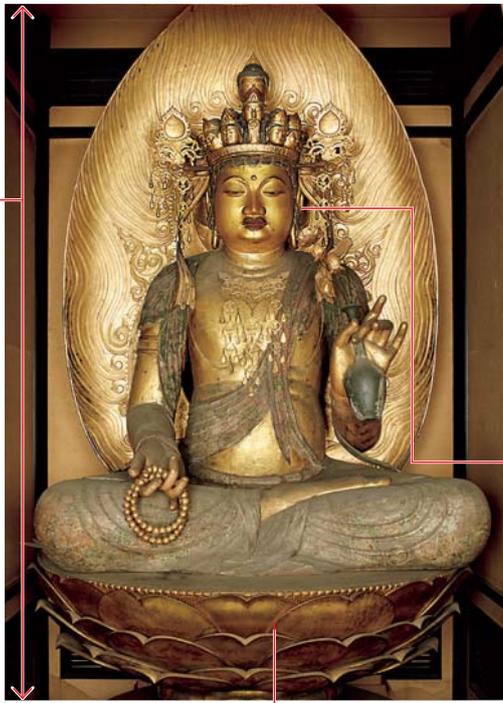
唐物文琳茶入 銘「玉垣文琳」
中国 南宋時代・12～13世紀
埼玉・遠山記念館蔵 11月8日(火)～11月27日(日)

記念講演会 事前申込制
「禅の美術」
日時：10月29日(土)
13:30～15:00 (13:00 開場予定)
講師：救仁郷秀明 (列品管理課長)
会場：平成館大講堂
定員：380名 (事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講無料 (ただし本展覧会の観覧券が必要。使用済の半券でも可)
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。
*1枚のはがきで最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
申込先：〒113-8730 日本郵便本郷支店私書箱16号 「禅一心をかたちに」記念講演会係
申込締切：9月20日(火) 必着

【開催概要】主催：東京国立博物館、臨濟宗黄檗宗連合各派協議所、日本経済新聞社/協賛：損保ジャパン日本興亜、東レ、トヨタ自動車、日本写真印刷、日本ロレックス/観覧料：一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は8月29日(月)～10月17日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイトほか、主要プレイガイドにて販売/お問合せ：ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト：<http://zen.exhn.jp/>

時代を動かした武将たち。彼らは足利将軍義政が所持した東山御物をはじめ、当時高く評価された貴重な道具を競って手に入れ、権力を誇示しました。この展覧会で鍵となるのは織田信長の弟で茶人としても知られる織田有楽(1547～1621)。晩年には建仁寺の塔頭、正伝院を再興し、茶室如庵(国宝、現・愛知県犬山市)を建てた人物としても知られています。今回、有楽所持と伝わる茶道具のなかから、1615年の大坂夏の陣で天下の名肩衝「新田」とともに被災し、家康の命によって救い出された茶入「玉垣文琳」や、当館所蔵 東山御物の「青磁輪花茶碗 銘 馬蝗絆」(※本展には出品されません)にそっくりな茶碗「鏡」など、エピソードの尽きない名品が出品されます。お楽しみに。(三笠景子)

じゅういちめんくわんおんざう
 ◎十一面観音菩薩坐像
 平安時代・10世紀
 滋賀・樺野寺蔵



総高はなんと5m超!

本尊の十一面観音像は高さが3.2mもあります。台座に坐ると高さは5mに及び、大きな光背を背負う姿は、文字どおり見上げるような威容です。これほどの大きさの仏像が寺の外で公開されるのは極めて珍しいことです。

開催概要 | 主催:東京国立博物館、樺野寺、読売新聞社/後援:TBSラジオ/協賛:日本写真印刷/協力:日本通運/観覧料:一般1,000円(900円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)* ()内は前売・20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は7月15日(金)~9月12日(月)、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、主要プレイガイドにて販売/お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600/展覧会公式サイト: <http://hibutsu2016.com/>

地域の中心なお像です

日本彫刻史の研究者の間では甲賀様式という表現が知られていますが、その源流は樺野寺の本尊・十一面観音菩薩坐像です。顔やすらとしたプロポーション、衣の表現に特徴があって、近在の寺の仏像にも見られる様式です。

一つひとつのお顔をじっくりと

四角張った輪郭にやや吊上がった目が特徴の顔ですが、頭上にも10の顔があります。真後ろは怒りながら大笑いする大笑悪面という顔です。寺では見ることができませんが、展覧会場ではその横顔がのぞけるかもしれません。



特別展

平安の秘仏

らくやじ The Hidden Buddha of Rakuyaji Temple, Shiga
 滋賀 樺野寺の大観音とみほとけたち

本館特別5室 | 9月13日(火)~12月11日(日)

大きな大きな観音さまが、トータルにやってきます。かくれ里の古刹・樺野寺のご本尊は、本展最大の見どころ。今回は展覧会を担当する丸山研究員が、この大きな観音さまの魅力をご紹介します。

らくやじ 樺野寺

滋賀県甲賀市にある樺野寺は、最澄が延暦寺建立に必要な材木を求めて訪れ、樺の木で仏像を彫ったことに始まるといわれます。白洲正子氏が「かくれ里」と呼んだ山裾の谷間にあり、重要文化財の仏像20体が静かにまつられています。



小野塚 研究員の私の名品

カマレス式杯

クレタ島 フェストス宮殿(LⅢ室とLV室の間の通路)出土
 中期ミノスⅡB期・前1750~前1700年頃
 イラクリオン考古学博物館蔵



白井 研究員の私の名品

コレー像

要注意!
「ギリシャ=白い大理石」ではありません。

白い大理石でイメージされるギリシャの彫刻も、もとは彩色されていたと実感できる作品です。背後にまわると、編んだ髪や、衣服の裾に彩色が残っており、衣服の細かいひだも刻線で丁寧に表現されています。



アテネ アクロポリス エレクティオン出土 前530年頃
 アクロポリス博物館蔵

特別展

古代ギリシャ

時空を超えた旅

平成館 特別展示室 | 6月21日(火)~9月19日(月・祝)

“本場”の“本物”が勢ぞろい! 古代ギリシャ展の決定版とも言える本展覧会。今回は数ある名品のなかから、担当研究員ならではの視点で、とっておきの作品を紹介します。

瀬谷 研究員の私の名品

**イルカと野山羊を
 表した舟形容器**

■ 気質ものびのび、作品ものびのび。

舟形の容器の両面に、エーゲ海の波間を跳躍するイルカと、早春のクロッカス畑を疾駆する野山羊が描かれています。テラ島の土器に描かれた絵には、青い海と空に囲まれて暮らした人々の、のびのびとした性格が表れていて、大好きな作品です。



テラ(サントリーニ島) アクロティリ集落「西の家」出土 前17世紀 テラ先史博物館蔵

注目の特集



注目

清朝末期の姿を伝える貴重な史料

特集「清国踏査遊記—関野貞・塚本靖が撮影した史跡写真」

7月26日(火)～9月4日(日)
●平成館 企画展示室

清朝末期、欧米や日本で中国の美術や考古遺物に対する関心が高まりをみせるなか、東京帝国大学(現・東京大学)の関野貞(1868～1935)と塚本靖(1869～1937)は、調査・記録の有効な手段として、いち早く19世紀前半にヨーロッパで誕生した写真技術を取り入れ、清国各地で様々な史跡や文物を調査し、写真撮影を行いました。

写された史跡や風景のなかには、後年大きく姿を変えたものや、すでに失われたものもあります。100年の年月を経た今、これらの写真は建築、考古、金石美術などの貴重な研究資料であるとともに、清朝の情景をまざまざと伝えてくれます。

本展では関野貞と塚本靖が清朝末期に行った中国調査に焦点をあて、3度にわたる踏査で撮影した写真資料の一部をご紹介します。(関紀子)



阿史那忠碑より九峻山を望む

関野貞撮影 明治39年(1906) 竹島卓一氏寄贈

唐の太宗の陵墓が築かれた九峻山麓に広がる荒涼とした大地

濟寧州南門外運河

(「支那写真帖」のうち)

塚本靖撮影

明治41年(1908)

北京と浙江省杭州を結ぶ京杭(けいこう)大運河の岸辺の光景です



注目

時代劇で見たお金の実物がここに!

特集「日本の貨幣—富本銭から大判・小判まで—」

8月2日(火)～9月25日(日)
●本館14室

天正菱大判
安土桃山時代
天正16年(1588)
大川功氏寄贈

上下の菱形の刻印からこの名があります。現存例は10に満たないとも



(部分)



富本銭
飛鳥時代・7世紀
内蔵寮寄贈

日本の金属貨幣で初期の例は、教科書にも登場する富本銭(飛鳥時代・7世紀)です。その後250年の間に奈良時代・8世紀の和同開珎をはじめ、12種類の銅貨(皇朝十二銭)が発行されましたが、平安時代・10世紀末には皇朝銭の製造は停止され、鎌倉時代や室町時代には、もっぱら中国製の銅貨が流通しました。室町時代・16世紀のいわゆる戦国時代には、各地の大名の領内で、商売や戦功へのほうびに使用する金銀貨が作られ、武田信玄による甲州金は江戸期の貨幣制度のもとともなりました。やがて天下統一を果たした豊臣秀吉が、最初の大判金である天正大判を登場させます。江戸時代には徳川幕府が貨幣制度を統一するとともに、渡来銭の使用を禁止し、ここにわが国独自の貨幣制度が確立しました。こうした古代から近世までの貨幣の歴史を、トータル所蔵品でたどります。(伊藤信二)

注目

和様の美の大成者、行成の偉大さを知る

特集「藤原行成の書—その流行と伝称—」

8月23日(火)～10月2日(日)
●本館特別1室

藤原行成(972～1027)は平安時代中期の貴族で、能書として活躍し、小野道風、藤原佐理とともに「三跡」と称されます。また、和様の書を大成し、平安時代に流行した世尊寺流の祖としても、尊重されてきました。本特集は、その藤原行成の書がテーマです。

まず、藤原行成の真跡(直筆)をご覧ください。国宝「白氏詩巻」と、重要文化財「書状」、「陣定文案」が並ぶのは、貴重な機会となるでしょう。次に、国宝「延喜式」など、行成の書風をよく真似ている作品を展示します。そして、伝称筆者を行成とする重要美術品「大智和漢朗詠集切」などの流麗な仮名の古筆、そのほか江戸時代の板本まであります。行成の書がどれほど流行し尊重されてきたのかを、行成の真跡とともに、数々の作品からご紹介いたします。(恵美千鶴子)



●白氏詩巻(部分) 藤原行成筆 平安時代・寛仁2年(1018)

藤原行成の代表作。子孫の定信が大切に伝えたものです

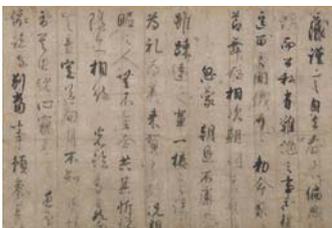
●書状

藤原行成筆

平安時代・寛仁4年(1020)

個人蔵

唯一現存する書状。行成の書状は平安時代に人気がありました



本館 日本に出会う

本館 2 室 国宝室

こわい餓鬼に襲われる!?
欲に溺れない、自戒の国宝

国宝 餓鬼草紙

7月26日(火)～8月21日(日)

仏教の教えでは、人は生前の罪業により六つの世界に転生することになりますが、その中でも苦しみの多い世界が餓鬼道です。ここは生前に強欲で物惜しみをしたりや嫉妬深い者が堕ちる所で、飢えと渇きに苦しみ、決して満たされることはありません。こうした餓鬼たちの様々な生態を描くのが「餓鬼草紙」です。

この世界に堕ちたらどうなるのだろうか、陰鬱な気持ちになりますが、餓鬼たちの姿はどこかユーモラス。冴え渡る迫真の画技に支えられた、生々しくも怪しい餓鬼たちの姿をご堪能ください。
(土屋貴裕)



(部分)

●餓鬼草紙

平安時代・12世紀
お盆の季節。日頃の行いを振り返りながら鑑賞するのにも一興です

本館 3 室 仏教の美術

凛々しい姿の空飛ぶお地藏さん

地藏菩薩像

8月9日(火)～9月19日(月・祝)



(部分)

地藏菩薩像

南北朝時代・14世紀
昔話などに出てくるかわいらしいお地藏さんとは一線を画す、凛々しい姿

「先祖をはじめ亡くなった方々の霊を供養するお盆。地域によって新暦か旧暦かの違いはありますが、本館3室では旧暦のお盆の時期に合わせて、死後の地獄からの救済に主眼をおいて用いられた作品を中心に展示します。なかでも注目なのは地藏菩薩像。浄土教思想と結びついて生まれた、亡くなった人を極楽浄土へ導くため来迎する地藏菩薩の姿を描いたものです。目元源やかな顔立ちと優しい色合いの彩色の上に精緻な截金文様を施した衣が美しい、地藏菩薩像の優品です。

また、閻魔王は地藏菩薩の別の姿ともされ、その考えを反映した、両者を一図に描いた作例も展示します。
(沖松健次郎)

本館 15 室

これが文化財保護、最初の一步

特集「壬申検査―博物館草創期の文化財保護活動―」

8月23日(火)～10月16日(日)

明治5年(1872)、創立したばかりの当館(当時は文部省博物館)では、社寺宝物調査を行いました。当館職員が中心となつて、名古屋から伊勢、京都、奈良方面へ文化財調査を実施し、また、全国から文化財の目録を蒐集しました。この調査は、その年の干支から「壬申検査」と呼ばれ、日本の文化財保護活動のはじまりと位置づけられます。重要文化財「壬申検査社寺宝物図集」をはじめとする壬申検査の資料や古写真を中心に、当時の文化財保護活動の一端をご紹介します。

(恵美千鶴子)



●正倉院 壬申検査関係写真 横山松三郎撮影 明治5年(1872)
壬申検査のために、正倉院も開封されました

本館 16 室 アイヌと琉球

琉球王国の繁栄をしのぶ、きらびやかな工芸品

キンカブ

～9月25日(日)



(部分)

キンカブ

奄美大島
第二尚氏時代・18世紀
大和良子氏寄贈
奄美大島大和村の最高神女(オヤノロ)の家系に伝わった簪です

毎年夏の恒例、琉球の展示です。今年、第二尚氏時代(1469～1879)の工芸作品のうち、おもに着飾る際に身につけたものや、宴会など飲食につかうものを中心に紹介しています。

キンカブとは神女(ノロ)という琉球王国に仕えた女性の神官が頭につけた簪、キンは金、カブは丸い装飾部分を意味します。この金色のカブには牡丹文様が彫られ、竿は銀色に輝いていました。琉球の工芸品のなかでも精美な一品です。
(河野正訓)



9/11 日 ◎太刀 銘 貞真
鎌倉時代・13世紀
(財)雲州三谷家明徳会寄贈

梨地笹龍膽車紋時絵糸巻太刀
(◎太刀 銘 貞真の拵)
江戸時代・17～18世紀
(財)雲州三谷家明徳会寄贈



4 茶の美術

9/13 火 12/11 日

◎天目茶碗 中国・建窯
南宋時代・12～13世紀 広田松繁氏寄贈
黒釉のなかに細い線が幾筋も現れた神秘的な天目茶碗



9/11 日 ◎一重口水指 銘 柴庵
信楽
安土桃山時代・16世紀
広田松繁氏寄贈
大きな亀裂が特徴的で、堂々とした風格を漂わせる水指です



3-3

3 禅と水墨画
— 鎌倉～室町

8/7 日 ◎李白観瀑図
惟肖得巖賛 室町時代・15世紀 個人蔵
室町時代に盛んに描かれた李白観瀑図の現存最古の遺品です



(部分)



8/9 火 9/19 月・祝

◎商山四皓竹林七賢図屏風
伝狩野元信筆
室町時代・16世紀
権力からの自由を尊んだ中国の隠者たちを爽やかな筆致で描きます

本館 3-3 室
禅と水墨画
— 鎌倉～室町

本館 3-2 室
宮廷の美術
— 平安～室町

3-2

3 宮廷の美術
— 平安～室町



8/9 火 9/19 月・祝

◎寸松庵色紙 伝紀貫之筆
平安時代・11世紀 浅野長武氏寄贈
秋の月を詠んだ和歌が唐紙に書写されています

本館 3-1 室
仏教の美術
— 平安～室町

2 国宝室

7/24 日 ◎遺告 良源筆
平安時代・天禄3年(972)
京都・廬山寺蔵
比叡山中興の祖・良源が病床で書いた遺言状の草稿。加筆訂正などが著しく、用意周到に記した様子がうかがわれます



(部分)

8/7 日 ◎鼠草紙
江戸時代・18世紀
清水寺で出会った鼠と姫君のカップル。その恋のゆくえはいかに？



1-1 日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

12/11 日

◎深鉢形土器

長野県伊那市宮ノ前出土
縄文時代(中期)・前3000～前2000年
徳川頼貞氏寄贈
器面全体を縦横に分け、その内側をさまざまな抽象文で飾る埋莖(うめがめ)



◎変形内行花文鏡

静岡県磐田市
松林山古墳出土
古墳時代・4世紀
中国の後漢(ごかん)鏡を模倣して作られた大型の国産鏡です



7/26 火 8/21 日

◎餓鬼草紙

平安時代・12世紀
不信心な人の魂を食う餓鬼。どこかユーモラスな餓鬼の表現にご注目ください

(方便品)

8/23 火 9/19 月・祝

◎法華経(久能寺経)

平安時代・12世紀 静岡・鉄舟寺蔵
鉄舟寺に伝わる19巻のうち2巻。
平安時代の装飾経を代表する作品です



3-1 仏教の美術
— 平安～室町

お盆の時期にちなみ、死後の救済を目的として制作された作品を中心に展示します。

8/9 火 9/19 月・祝

◎地藏菩薩像

南北朝時代・14世紀
端正な顔立ちの美しさにご注目ください!



1-2 仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

9/19 月・祝

◎如来立像

飛鳥時代・7世紀
法隆寺献納宝物で唯一の木彫像(クスノキ製)。光背用の鉄の支柱も制作当初のもです



8/9 火 9/19 月・祝

◎等目菩薩経巻中(吉備由利願経)

奈良時代・天平神護2年(766)
吉備真備の親族で女官の由利が発願した一切経の一つ。大ぶりの堂々とした文字です



8/7 日

◎茶吉尼天像

室町時代・16世紀
日本で成立した白狐に乗った三頭の異形神は、強力な呪力を期待して誕生した姿といえます

7

屏風と襖絵

— 安土桃山・江戸

8/9 火 — 9/19 月・祝

8月11日「山の日」にちなんで
山や水の表現をお楽しみいただけます。



山水図屏風 吳春筆

江戸時代・18世紀
サテン地に墨。秋の澄んだ空気と柔らかな
光の表現が見事!
(部分)

8/7 日

江戸初期の狩野派に注目、
山水画の名品をご覧くださいます。

○山水図屏風 狩野探幽筆

江戸時代・17世紀
西脇健治氏寄贈
狩野探幽の壮年期、水墨山水の
優品です

(部分)

5

6

武士の装い

— 平安～江戸



9/6 火 — 12/11 日

○程鳥米肩赤威胴丸

室町時代・15世紀
秋田一季氏寄贈
兜、袖を完備した貴重な
胴丸の作例で、威や
金物も装飾的で華やか
です

8 - 1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

7/31 日

○染付龍潭文提籠

青木木米作
江戸時代・19世紀
笠置達氏寄贈

文様は、中国・明時代後期
の万暦年間(1573～1620)
の青花に倣ったものです



8/2 火 — 10/23 日

○楓時絵文庫

原羊遊齋作 江戸時代・19世紀
作者は江戸時代後期を代表する時絵師。
楓の枝葉が箱の表面を覆いつくしています

8 - 2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

8/7 日

○松樹古寺図

田能村竹田筆
江戸時代・天保3年(1832)頃
友人である頼山陽(らいさんよう)
の依頼で制作、山陽逝去
の報を受け鎮魂歌となった名
作です



8/9 火 — 9/19 月・祝

和歌詠草「八十年の」

徳川齊昭筆
江戸時代・19世紀
安嶋彌氏寄贈
幕末の水戸藩主齊昭の
豪放な詠草です

額字「敬天愛人」

西郷隆盛筆
明治時代・19世紀
西郷從徳氏寄贈
西郷が座右の銘とした
著名な一句



9

能と歌舞伎

8/7 日

面の表情や
装束のデザインから
その喜劇的な特色を
紹介します。



○肩衣 藍麻地鳥居杉木立模様 江戸時代・19世紀

鳥居を背中いっぱい染めた大胆なデザインです



8/9 火 — 10/10 月・祝

「鬼の形」と形容された山姥の
風姿をご覧くださいます。

唐織 茶地向鶴菱模様

江戸時代・17世紀
山姥の表着には、幾何学的な
力強いデザインが好まれました

【衣装】— 8/7 日

○帷子(麻製の夏の単仕立の衣装)
や、涼しげなガラス製の櫛・笄・
簪を展示します。

○帷子 黒紅麻地

○扇面雪輪手管秋草模様

江戸時代・17世紀
真夏の衣料に、あえて秋草や雪
の模様で涼を誘う趣向です



8/9 火 — 10/10 月・祝

夏の単衣や重陽の節供にちなんだ
菊の模様の小袖を中心に展示します。

○振袖 白輪子地大菊小花模様

江戸時代・17世紀
寛文期の美人図にもみられる、
肩に表わされた大花のデザイン



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】— 7/31 日

七夕、花火、納涼などを描いた
夏らしい作品を展示します。

○両国花火 喜多川歌麿筆

江戸時代・18世紀
江戸の夏、隅田川の納涼船が
シルエットで描かれています



8/2 火 — 8/28 日

上下に版を継いだめずらしい判型の
浮世絵や、納涼風俗を展示します。

○橋の上下 喜多川歌麿筆

江戸時代・18世紀
大判錦絵6枚を継いだ大画面!



(部分)

8/30 火 — 9/25 日

春信、歌麿らの美人図に近年人気の
歌川国芳の作品を加えて展示します。

○婦人相學十餘・浮気之相

喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀
ちょっと気の多い、色気のある美人



本館 7 室

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

本館 8-1 室

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

本館 8-2 室

書画の展開
— 安土桃山・江戸

本館 9 室

能と歌舞伎

特別 2 室

本館 10 室

浮世絵と衣装
— 江戸

出口

総合文化展 | 見どころ案内

本館 2 階

[8月09月]

日本美

縄文から江 ほんものでた

必見

東洋館

アジアを旅する

東洋館 5室
「中国の染織」

色鮮やかな刺繍の輝き

刺繍 龍八宝唐草文様壁掛

7月26日(火)〜10月23日(日)

上海博物館で未公開だったこの作品は、縦幅194cm、横幅335cmもある大きな壁掛です。中央には正面を向いた五爪の金龍が、金糸で縫い表されています。金龍を囲むようにして、花瓶から唐草様の蓮花が青、桃色、緑、黄など色鮮やかな糸で刺繍されています。三鈷杵をモチーフとしたデザインや蓮の花、仏教的なシンボルを含んだ8つの宝文から、仏教寺院を飾る壁掛として用いられたものでしょう。700年前のものとは思えない絹の輝きと美しい刺繍の色彩、重厚な金糸刺繍が見どころです。

(小山弓弦葉)



刺繍龍八宝唐草文様壁掛
中国 元~明時代・14世紀 上海博物館蔵
14世紀に制作された寺院用壁掛の完品は、滅多にお目にかかれませんが

(部分)

東洋館 5室
「中国の青銅器」

ダイナミックな牛の造形に注目

七牛貯貝器

8月30日(火)〜2017年2月26日(日)



七牛貯貝器
中国 雲南省晋寧県石寨山出土
前漢時代・前2~前1世紀
上海博物館蔵
蓋の上で表されているのは、儀式の一場面と考えられています



(部分)

簡素なつくりの胴部にくらべ、蓋の上はたいそう賑やかです。首をふり、ひしめきあつて進む6頭の牛。地を踏む音や熱い吐息までもが感じられます。中央には、もう1頭が銅鼓の上で一声あげています。本作は中国西南部の雲南省で出土した青銅器。中にはタカラガイをぎっしりと詰めていました。雲南省のような内陸部では南海産の貝は大変貴重だったので。トーハク、上海博物館からの選りすぐりの青銅器の競演により、展示室では、ほかにも中国各地のさまざまな青銅器文化に出会えます。

(市元墨)

東洋館 8室
「中国の絵画・書跡」

恒星カノープスの化身、寿老人

重美 寿星図

9月27日(火)〜10月23日(日)

日本では地平線の近くに暗く赤みを帯びて見える恒星カノープスを、中国では古くから寿星と呼び、天下泰平を導き、人の寿命を司る福神として尊んできました。寿星の化身とされる寿老人は、北宋の仁宗皇帝の治世に現れて、開封の街を歩き回り、宮殿に召されて酒を飲んだ逸話がよく知られています。元時代のこの寿星図は、明時代以降、しばしば鹿を従え、杖の頭に巻物をつけるなど、定型化する前の貴重な作例です。同時に展示している上海博の繡絲仙人図壁掛の寿老人とも見比べてみてください。

(富田淳)



(部分)

〇寿星図
中国 元時代・14世紀
単なる吉祥画ではなく、信仰の対象となりうる威厳をそなえています



東洋館 13室
「アジアの民族文化」

バラエティに富んだ神秘的剣

特集「クリス―神秘的なインドネシアの武器―」

7月5日(火)〜10月10日(月・祝)



クリス
インドネシア ジャワ島東部 17~18世紀
J.C. ベイレフエルト氏寄贈
把や鞘にも、細かい文様が表されています

インドネシアなど、東南アジアで用いられる鉄剣であるクリスは、男性が正装するとき身に着けるもので、持ち主を守るといわれています。ジャワ島などでは剣身が蛇行し、バリ島などではまっすぐであるなど、地域によって形や装飾が異なっています。独特の刃紋が印象的です。この特集では、東京国立博物館の所蔵するクリスを地域別に展示します。

インドネシアではワヤン(人形芝居)、バティック(更紗)に並んでユネスコの無形文化遺産とされる神秘的剣を、この機会にご観覧ください。

(白井克也)

平成館 考古で遊ぶ

●平成館 考古展示室

これが「ザ・後期古墳文化」です

特集「後期の古墳文化―海北塚古墳展―」

7月20日(水)～10月30日(日)

大阪府茨木市の海北塚古墳は古墳時代後期(6世紀)の古墳です。出土品の特色として挙げられるのは、日本列島最古の環頭柄頭、伝統的な形から新羅風への転換を良く示す馬具、「海北塚式須恵器」として広く知られる須恵器など、年代を決めるうえで軸となる考古資料が多数含まれていることです。さらに、銀装鉄矛・銀製山柀玉・銀製勾玉のように、全国的にも類例の少ない装飾武器や金属製玉類も出土しています。

本特集は、こ

れら当館所蔵の

海北塚古墳出土品の全貌をご覧いただくものです。また、そのほかの古墳時代後期の主要な環

頭柄頭・馬具・須恵器もあわせて展示することで、考古学における年代決定の方法や、資料が遷り変わる様子、その背景についても紹介します。
(河野正訓)



金銅装花形座雲珠・辻金具
大阪府茨木市海北塚古墳出土古墳時代・6世紀
元々は金色で、馬をきらびやかに飾りました

●平成館 考古展示室

魚で魚釣り!? これ、な〜んだ?

魚形石器

通年展示

寒冷な気候のために水田稲作が根づかなかつた北海道では、本州が弥生時代に入ったのちも漁労・狩猟・採集を生業とする暮らしが続いていました。この時代は縄文時代とよばれ、漁労活動に重きがおかれていました。

そのような環境のなかで新たに登場した道具が魚形石器で、縄文文化に特有のもので、魚形石器は、結合釣針の軸・錘・疑似餌の機能を備えた画期的なもので、大形のヒラメを捕えること



魚形石器 出土地不詳
縄文時代(前期)・前2～前1世紀
写真左:徳川頼貞氏寄贈
縄文時代を象徴する大形のルアー、狙うは海底にひそむ大物

に特化した漁具でした。しばしば墓の副葬品としても出土することから、単なる漁具としてだけでなく社会的な役割も担っていたと考えられています。
(品川欣也)

法隆寺宝物館 宝物に浸る

●法隆寺宝物館 第3室

制作工程がわかる、貴重な例

重文 伎楽面 醉胡徒(未完成)

8月2日(火)～8月28日(日)

演劇をともなう古代の仏教儀礼に使われた法隆寺伝来の伎楽面には、彩色を施さないばかりか、鑿跡も生々しい未完成面が2面含まれています。大体の形はできていますが、表面にはアタリをつけた墨線も残り、制作工程を知るうえでも貴重な資料といえます。

興味深いことに、醉胡徒とみられる仮面の右側頭部には、女性らしき人物の顔が墨書きされています。彫り進めれば削られてしまうため、落書きとして描かれた戯画と考えられます。仏像の台座裏や、建築部



◎伎楽面 醉胡徒(未完成)
飛鳥～奈良時代
7～8世紀
荒削りの彫刻痕も見どころですが、右耳の上に描かれた戯画に注目です

材など、完成後には見えなくなる場所に、しばしば戯画はみられますが、職人が息抜きのために描いたものでしょうか。屈託のない伸びやかな描線が印象的です。伎楽面は、保存上の観点から年間4回と公開期間が限られています。この機会に、ぜひ古代人の落書きもお見逃しなく。
(西木政統)

●法隆寺宝物館 第6室

新発見! 7世紀に遡る稀少な木簡

広東綾大幡と初公開の木簡

8月23日(火)～9月19日(月・祝)

今回、法隆寺宝物館第6室では全ケースを使って染織品の展示を行います。なかでも注目なのが広東綾大幡。幡というのは法要に使う長細い旗のことで、この作品は長さが約12mもあります。色とりどりの絹織物や金色の飾りに彩られた、古代の壮麗な幡を、ご覧ください。

また、もう一つの注目は、新たに見出された8点の木簡です。木簡とは墨書きされた木片のこと。この木簡は、文書としての役割を終えた後、幡が歪まないように中に

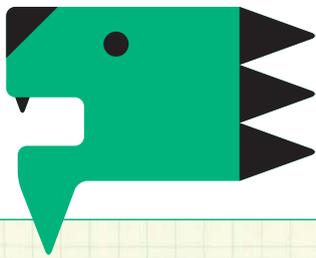


幡芯板(木簡転用材)
法隆寺伝来
飛鳥～奈良時代
7～8世紀
初公開の8点の木簡のうち2点。今後の研究が期待されます



広東綾大幡
飛鳥～奈良時代
7～8世紀
色とりどりの房がついた金銅製金具
(部分)

入れる芯板として転用されています。残念ながらどの幡の芯板かはわかりませんが、法隆寺宝物館のほかの幡との関係や書式により、飛鳥から奈良時代の遺物と考えられます。伝来品としては日本最古の部類に属する木簡であり、古代の法隆寺を考えるうえで貴重な資料と言えるでしょう。
(三田寛之)



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び 講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

月例講演会 夏休み子ども質問箱「教えて!日本の美術」

日時:8月20日(土) 14:00~15:00

講師:瀬谷愛(保存修復室主任研究員)

三田寛之(教育普及室研究員)

司会:勝木言一郎(教育講座室長)

会場:本館特別4室 定員:100名(先着順)

日本の美術に関する子どもたちの「なぜ? どうして?」について、事前に募集した質問に、研究員がお答えします。

応募方法:①質問箱:所定の質問用紙に記入し、本館1階インフォメーション、本館1階・2階ラウンジに設置してある質問箱に投函してください。②ウェブサイト:当館ウェブサイトのフォームからご応募ください。

*質問は中学生以下対象、1回の応募につき1つ。

応募締切:8月15日(月)必着

皆様の応募を
お待ちしております



月例講演会「和紙の魅力 技術記録と料紙の変遷」

日時:9月10日(土) 13:30~15:00

講師:高橋裕次(保存修復課長) 会場:平成館大講堂 定員:380名(先着順)

ユネスコ無形文化遺産「和紙」の技術記録や、古代以来の料紙の変遷から、和紙の美しさ、強さの秘密を探り、世界に誇る技術とその魅力をご紹介します。

*聴講無料(ただし当日の入館料が必要)

*開場は開始の30分前(予定)

りょうし

ART
2

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

まがたま

勾玉作り・ファミリーで勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

①勾玉作り

日時:10月2日(日) 13:30~15:30

②ファミリーで勾玉作り

日時:11月6日(日) 13:30~15:30

会場:本館地下 みどりのライオン

(教育普及スペース)

対象:①高校生以上 ②小学3年生~中学生とその保護者

定員:①20名程度(応募者多数の場合は抽選)

②7組程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料(ただし、18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法:当館ウェブサイトのフォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(①は2名まで②は5名まで)の氏名・ふりがな・お子さんの学年、(2)参加者の郵便番号・住所(2名の場合は、それぞれの住所)、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切:①9月5日(月)必着 ②10月3日(月)必着

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館ボランティア室 ①「10月2日勾玉作り」係、
または②「11月6日ファミリーで勾玉作り」係



ギャラリートーク

かいほうづか

海北塚古墳出土の金属製品

*関連展示:本誌11ページ

日時:8月9日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師:古谷毅(列品管理課主任研究員)

豊富な金銅製品や銀製品を含む海北塚古墳出土金属製品の特徴と、歴史的意義についてお話しします。

ちんぼじゅう

鎮墓獣の話 西晋から唐まで

日時:8月23日(火) 14:00~14:30 東洋館シアター

講師:市元壘(特別展室主任研究員)

中国各地の古代の墓からみつかると呼ばれる置物。それは本当に「墓を鎮めし獣」なのでしょうか。鎮墓獣の不思議に迫ります。

さんせき ふじわらのこうぜい

三跡・藤原行成の尊重

*関連展示:本誌6ページ

日時:8月30日(火) 14:00~14:30 本館特別1室

講師:恵美千鶴子(150年史編纂室主任研究員)

「三跡」の一人であり、和様の書を大成した藤原行成。その書がいかに親まれ、尊重されてきたのかをご紹介します。

行成(こうぜい)の話
を聞こうぜい!



縄文時代の石の道具

日時:9月6日(火) 14:00~14:30 平成館考古展示室

講師:飯田茂雄(考古室アソシエイトフェロー)

縄文時代には狩猟や漁労、調理用具だけではなく、装身具や祈りの道具も石で作られていました。多彩な石の道具の魅力を解説します。

古代キプロスの魅力

日時:9月13日(火) 14:00~14:30 東洋館3室

講師:小野塚拓造(東洋室研究員)

古代より西アジアと地中海世界との架け橋となってきたキプロス島の文化を、交易壺、土偶、石彫などを通してご紹介します。

事前申込制 [往復はがき]

連続講座 仏像三昧

秋に開催する2つの展覧会、特別展「平安の秘仏一滋賀・榛野寺の大観音とみほとけたち」(本誌5ページ)と特別展「禅一心をかたちへ」(本誌4ページ)を、より楽しんでいただくための講座です。当館研究員と館外の講師が特別展の作品をまじえながら、日本の仏像についてお話しします。

◆10月21日(金) 13:00~16:15

「仏像入門1 如来・菩薩」西木政統(絵画・彫刻室アソシエイトフェロー)

「仏像入門2 明王・天部」浅湫毅(京都国立博物館連携協力室長)

◆10月22日(土) 13:00~16:15

「九州の仏像一太宰府と宇佐の古代彫刻一」末吉武史(福岡市博物館学芸員)

「関西の仏像一天台彫刻を中心に一」寺島典人(大津市歴史博物館学芸員)

◆10月23日(日) 13:00~16:15

「関東の仏像一鎌倉彫刻史と禅宗を中心に一」

瀬谷貴之(神奈川県立金沢文庫主任学芸員)

「東北の仏像一古代から平泉藤原氏の時代へ一」

酒井昌一郎(仙台市博物館学芸員)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講無料(ただし、初日の入館料は必要。2日目以降は初日の受付時にお渡しする受講券で入館いただけます。なお、受講券で特別展には入場できません。)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に①参加者(2名まで)の氏名・ふりがな、②代表者の郵便番号・住所・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

*1枚の往復はがきで最大2名の申込可。

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係

申込締切:9月12日(月)必着 お問合せ:TEL:03-3822-1111(代)教育講座室

PART
3

五感を使った美術体験
ツアー・工程見本

ファミリーツアー

トーハク劇場へようこそ!

トーハクには、長い歴史のあるものがたくさん! 考古学をテーマにした演劇形式のツアーです。劇場にお芝居を観に行くような、わくわくした気分でご参加ください。



日時: 8月14日(日) ①10:00~11:00 ②13:30~14:30
8月15日(月) ③10:00~11:00 ④13:30~14:30

*8月15日(月)の回はキッズデー(本誌14ページ)関連イベントです。

集合場所: 平成館考古展示室前 対象: 小学生とその保護者
参加費: 無料(ただし、18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

参加方法: 事前申込不要。当日集合場所に直接お越しください。

お問合せ: TEL: 03-3822-1111(代) 教育普及室

工程見本展示

裏彩色—「一字金輪像」の隠れた色彩—

日時: 9月13日(火)~2017年4月16日(日)
本館19室 みどりのライオン

東洋絵画では、絵を描くときに表だけでなく、裏から色を塗ったり金箔を貼ったりすることで、表面の色彩に効果を与える技法があります。それを「裏彩色」と呼びます。この技法を、当館所蔵の重要文化財「一字金輪像」を例にご紹介します。今回の展示では、通常なかなか見ることができない、絵の裏側もご覧いただくことができます。「裏彩色」の効果をぜひ感じてみてください。



工程見本の制作の様子

*原品の展示予定はありません。

博物館でお花見を「花見で一句」館長賞発表

「博物館でお花見を」(2016年3月15日~4月10日)の関連企画、東博句会「花見で一句」にて、俳句の募集をしました。開催期間中、館内の投句ポストに一般の部435句、小学生以下の部53句のご応募をいただきました。応募作品のなかから、一般の部館長賞1名、副館長賞2名、桜賞3名、小学生以下の部館長賞1名、副館長賞1名を発表します。受賞者の皆さまには記念品を送らせていただきました。ご投句いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

一般の部
館長賞

母に歩を合わせて長き花の道

寺本 理恵

副館長賞

勇み足遊楽図観て桜待つ
桜散る 智感情の 屋根瓦

寺谷 友美
関根 信三

桜賞

桜散り川に浮かんだ置き手紙
歓声に揺れて応える桜かな
上野山見上げるほおは桜色

小泉 朱音
掬見 川康
吉田 信子

小学生以下の部
館長賞

さくらさくはにわもにっこりおどりだす

副館長賞

はにわくんその顔わかるよ花見たい

上田 真結香

上田 愛友里
(敬称略)

*「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことで

*事前申込プログラムにお申し込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、

通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報

36

CTスキャナーの文化財保存への活用

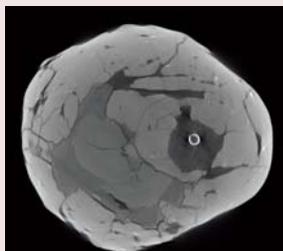
2014年に当館に導入されたX線CTスキャナー(以下CT)は、当館所蔵の文化財に加え、海外も含めた他の施設の文化財や、分野を超えた様々な調査研究に活用されています。

当館では、調査研究や、修理が必要な文化財の修理方針

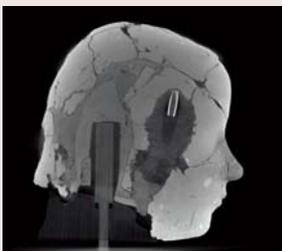
を定めるための内部構造調査などに使用されています。また、大阪と東京への貸出し依頼があった塑像の彫刻作品について、輸送方法を検討するためにもCTを用いました。この作品は外見にヒビが多数

散見されていたことから、彫刻内部の状況も確認する必要があったのです。調査の結果、内部にも多数のヒビが確認されたことから、振動によるヒビの進行が懸念される遠方への貸与は見送られました。

CTによる文化財の調査は、人間に例えたと手術前のCT検査や健康診断を行うことに似ています。文化財の調査研究の目的のためだけでなく、文化財をとりまくリスクを取り除き、状態を維持し後世に文化財を伝えるために役立っています。(宮田将寛)



(上から見た図)



(側面から見た図)

X線CTスキャナーによる内部断面画像

マドモアゼル・スザンヌ
藤川勇造作 明治42年(1909)
※8月2日(火)~9月11日(日)まで
本館18室で展示予定

資料館より—法隆寺献納宝物関連の図書は資料館でご覧ください

資料館閲覧室に、法隆寺献納宝物関連の書籍・資料をまとめて配架したコーナーを設置しました。法隆寺献納宝物は明治前期に法隆寺から皇室に献納された一群の文化財で、飛鳥時代以来の仏像、工芸品、絵画、書跡などを含む当館を代表するコレクションです。法隆寺宝物館で展示中の作品に興味を持たれた方は、資料館にもお立ち寄りください。法隆寺自体についての書籍もご覧いただけますので、ご遠慮なく資料館スタッフにお尋ねください。

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

○VR作品『東博のミイラ デジタル解剖室へようこそ!』
～9月4日(日)



○VR作品『色絵月梅図茶壺(仮)』 9月7日(水)～9月25日(日)

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、
未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料(1作品/1回あたり)

- *夏休み期間中の7月13日(水)～9月4日(日)は、小・中学生は鑑賞無料です。
- *総合文化展とセット購入で一般:1,000円/大学生800円
- *所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

『MUSEUM』662号(2016年6月15日発行)の掲載論文

- ①『報告』法隆寺伝来上代裂 纈纈・綾・錦・組紐・刺繍・氈等の残欠—平成二十四年度修理の成果—
沢田むつ代(当館客員研究員)
- ②『研究ノート』法隆寺伝来「古裂」の本格修理に伴う配置復元について「三田覚之(当館教育普及室・工芸室研究員)

問合せ: 当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価:1,543円(税込)



平成館考古展示室が日本展示学会賞(作品賞)を受賞!

昨年10月にリニューアルした平成館考古展示室が、日本展示学会の第5回学会賞(作品賞)を受賞しました。本賞は2013年より3年の間に完成、公開された日本全国の展示作品の中から同学会の厳正な審査により選考されたものです。



6月5日に行われた表彰式には、東洋館(2013年)、本館(2014年)の改修に引き続き、改修計画や展示室全てのデザインを監修した矢野賀一デザイン室主任研究員が代表して出席し、賞状と盾を受け取りました。

柳瀬荘アートプロジェクト

埼玉県所沢市にある古民家「柳瀬荘」にて、日本大学芸術学部と協同で現代美術の展示を行います。詳細は当館ウェブサイト等をご確認ください。

会場: 柳瀬荘(埼玉県所沢市坂之下437)
日時: 9月20日(火)～10月1日(土)(9月26日(月)は休館)
10:00～16:00 入場無料



特別展「禅—心をかたち—」 チケットプレゼント

本誌4ページでご紹介した特別展「禅—心をかたち—」(10月18日(火)～11月27日(日))の無料観覧券(10組20名様)を抽選でプレゼントします。締切は2016年9月26日(月)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢ならびにこの号で一番おもしろかったページをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース8・9月号」プレゼント係



東京国立博物館利用案内

開館時間:

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 12月までの特別展開催期間中の金曜日は20:00まで
- 7月・8月の水曜日は20:00まで
- 9月までの土・日曜、祝日は18:00まで
- 10月14日(金)・15日(土)は22:00まで
- 11月3日(木・祝)・5日(土)は20:00まで
- 黒田記念館は17:00まで

休館日:

月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌平日休館)

- 8月15日(月)は開館
- 2016年の年末は12月23日(金・祝)まで開館、2017年は1月2日(月・休)から開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金:

一般=620(520)円 大学生=410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 敬老の日(9月19日(月・祝))は、総合文化展のみ無料

最新情報は、ウェブサイト、
Facebook、Twitter、メールマガジンで!
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

*各種イベントのお申込に際してご提供いただいた個人情報は、当該目的のみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

東京国立博物館ニュースの定期購読

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックと同時申し込みで100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。
*次号よりご送付希望の場合、締切は9月10日(土)です。

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 発行日から1年間有効

年会費 10,300円
*継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。特別展観覧券(12枚)の配布、そのほか本誌の定期郵送など様々な特典があります。

パスポート 発行日から1年間有効

一般 4,100円
29歳以下 3,000円
学生 2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも、特別展は1回ずつ計6回まで観覧可能です。

ベーシック 発行日から1年間有効

一般 1,500円
29歳以下 1,100円
学生 900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展を何度でも観覧できます。

◎お問合せ
電話 03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

▶各種お申込みは当館窓口・ウェブサイトまたは郵便振替で

【ウェブサイト】

申込フォームよりお申し込みください。クレジットカードによる電子決済をご利用いただけます。

【郵便振替でのお申込】

- 振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。
- 振替用紙の半券が領収書になります。有効期間終了まで保管しておいてください。
- 振替手数料はおお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

●振替用紙には申込区分(新規・継続)を記入し、「継続」の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

東京国立博物館ニュースの定期購読&パスポート・ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号 00140-1-668060

●パスポート・ベーシックの申し込みの場合、振替用紙に申込区分(「パスポート・ベーシック」[一般・29歳以下・学生])を記入し、「29歳以下」・「学生」の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

*一度納められた料金の払戻はいたしません。

1月	休館日	特別展「古代ギリシャー時空を超えた旅ー 親子のギャラリー「美術のうら側探検隊」
2月		
3月	夜間開館(20:00まで)	
4月	東 11:00	
5月	夜間開館(20:00まで) 法 15:00	
6月	時間延長(18:00まで) 本 14:00	
7月	時間延長(18:00まで) 作 13:30 考 14:30	
8月	休館日	
9月	G「海北塚古墳出土の金属製品」14:00 平成館考古展示室	
10月	夜間開館(20:00まで)	
11月	時間延長(18:00まで) 本 14:00	
12月	夜間開館(20:00まで) 英 14:00	
13月	時間延長(18:00まで) 陶 14:30	
14日	時間延長(18:00まで) 近 13:00 浮 14:00 W「トーハク劇場へようこそ!」10:00、13:30	
15月	W「トーハク劇場へようこそ!」10:00、13:30 【総合文化展】キッズデー 10:00～16:00	
16月		
17月	夜間開館(20:00まで)	
18月	彫 15:00	
19月	夜間開館(20:00まで)	
20日	時間延長(18:00まで) 講 夏休み 子ども質問箱「教えて!日本の美術」14:00 本館特別4室 本 14:00 法 15:00	
21日	時間延長(18:00まで) 東 11:00 英 11:00 浮 14:00 考 14:30	
22月	休館日	
23月	G「鎮墓獣の話 西晋から唐まで」14:00 東洋館シアター W「博物館のうら側探検ツアー」*1 10:30、14:30	
24月	夜間開館(20:00まで)	
25月	本 14:00	
26月	夜間開館(20:00まで)	
27日	時間延長(18:00まで) 刀 13:30	
28日	時間延長(18:00まで) 彫 11:00	
29月	休館日	
30月	G「三跡・藤原行成の尊重」14:00 本館特別1室	
31月	夜間開館(20:00まで)	

1月	東 11:00	
2月	夜間開館(20:00まで) 法 15:00	
3日	時間延長(18:00まで) 樹 13:30 本 14:00	
4日	時間延長(18:00まで) 作 13:30 考 14:30	
5月	休館日	
6月	G「縄文時代の石の道具」14:00 平成館考古展示室 法 11:00	
7月		
8月	本 14:00 陶 14:00	
9月	夜間開館(20:00まで) 英 14:00	
10日	時間延長(18:00まで) 講「和紙の魅力 技術記録と料紙の変遷」13:30 平成館大講堂 陶 14:30	
11日	時間延長(18:00まで) 近 13:00 浮 14:00	
12月	休館日	
13月	特別展「平安の秘仏ー滋賀・櫛野寺の大観音とみほとけたち」 G「古代キプロスの魅力」14:00 東洋館3室	
14月		
15月	彫 15:00	
16月	夜間開館(20:00まで) 樹 13:30	
17日	時間延長(18:00まで) 法 11:00(手話通訳付) 本 14:00 法 15:00	
18日	時間延長(18:00まで) 東 11:00 英 11:00 茶 12:30、14:00 浮 14:00 考 14:30	
19月	時間延長(18:00まで) 総合文化展無料観覧日	
20月	休館日	
21月		
22月	時間延長(18:00まで) 本 14:00 東京国立博物館 秋のコンサート 15:00 平成館ラウンジ*2	
23月	夜間開館(20:00まで)	
24日	時間延長(18:00まで) 刀 13:30	
25日	時間延長(18:00まで) 彫 11:00	
26月	休館日	
27月	👛 スペシャルツアー「中国陶磁 1000年をめぐる旅」14:00 👛 伝統衣装 12:00～17:00	
28月	👛 スペシャルツアー「アジアをリードした中国の染織技術」11:00 👛 伝統衣装 12:00～17:00 👛 シタールの演奏 13:30、15:00 東洋館1室	
29月	👛 スペシャルツアー「悠久の青銅器と神獣ウォッチング」11:00 👛 アジアンぬりえ 11:00～16:00 👛 伝統衣装 12:00～17:00 👛 彫 15:00 👛 夜YOGA 19:30 東洋館1室*3	
30月	夜間開館(20:00まで) 👛 伝統衣装 12:00～17:00 (12/11まで)(10/23まで)	

👛 = 「博物館でアジアの旅」関連事業、詳細は本誌2ページ
 *1 事前申込制、詳細は本誌3ページ *2 有料イベント。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください
 *3 事前申込制、詳細は本誌2ページ

👤 = 月例講演会等、詳細は本誌12ページ
 G = ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
 W = ファミリーツアー(「トーハク劇場へようこそ!」の詳細は本誌13ページ)
 🧸 = 託児サービス実施日(12:30～15:30) 事前予約制 有料
 🎫 = ボランティアによるアートスタジオ 事前申込制 詳細は本誌前号12ページ、8月分は締め切りました。
 📖 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
 🗺️ = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 🏺 = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 🗿 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス ※9/29の集合場所は東洋館1階エントランス
 🌳 = ボランティアによる樹木ツアー(※8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス
 🗿 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

🍵 = ボランティアによる応挙館での茶会(※8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 🏞️ = ボランティアによる庭園茶室ツアー(※8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス(先着18名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 🗨️ = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
 🚶 = ボランティアによるたてもの散歩ツアー(※8月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス
 🗨️ = ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 🗡️ = ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館1階エントランス
 🏯 = ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(8月は「仏像の旅」、9月は「東洋館ハイライト」をご案内します)
 🗨️ = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
 ※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。